

(JP tran) Ver1.0 (20190821)

目次

目次

| | |
|---|----|
| <u>Mediatix 4400 デジタルゲートウェイ ISDN 電話</u> | 3 |
| <u>必要条件</u> | 5 |
| <u>Mediatix 4400 デジタルゲートウェイの構成</u> | 6 |
| <u>DHCP サーバーを使用して Mediatix ユニットの接続する</u> | 6 |
| <u>静的 IP アドレスを使用して Mediatix ユニットの接続する</u> | 7 |
| <u>Mediatix ユニット Web インターフェイスへのログオン</u> | 8 |
| <u>デフォルトサーバーの構成</u> | 9 |
| <u>すべてのゲートウェイへのユニットの登録</u> | 10 |
| <u>ISDN の構成</u> | 11 |
| <u>サービスの再起動</u> | 11 |
| <u>Sip-default から ISDN へのルートの作成</u> | 12 |
| <u>ISDN から SipDefault へのルートの作成</u> | 13 |
| <u>検証</u> | 14 |
| <u>基本的な通話の実行-シナリオ A</u> | 14 |
| <u>基本的な通話の実行-シナリオ B</u> | 14 |
| <u>製品の廃棄手順</u> | 15 |
| 著作権表示 | 15 |
| <u>ドキュメンテーション</u> | 16 |

Mediatix 4400 デジタルゲートウェイ ISDN 電話

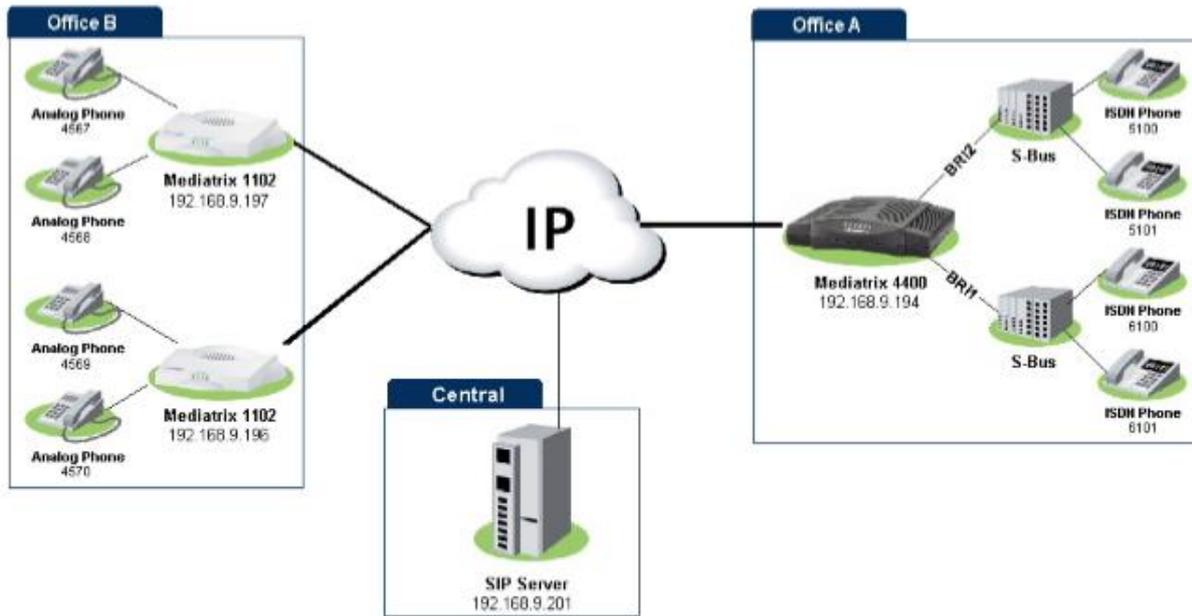
このドキュメントでは、1つの Mediatix 4402 デジタルゲートウェイをセットアップして、企業ネットワーク環境で ISDN 電話に Voice over IP (VoIP) 接続を提供するための構成手順の概要を説明します。

Mediatix 4402 は、ISDN 電話を既存の VoIP ネットワークに接続するために使用されます。設定は Mediatix 4402 のデフォルト設定から始まりますが、4404 と 4401 用に簡単にカスタマイズできます。これ以降、デバイスは Mediatix 4400 と呼ばれます。

次のページで説明する手順は、Mediatix ユニットのセットアップして、次のことができるようにする方法を示しています。

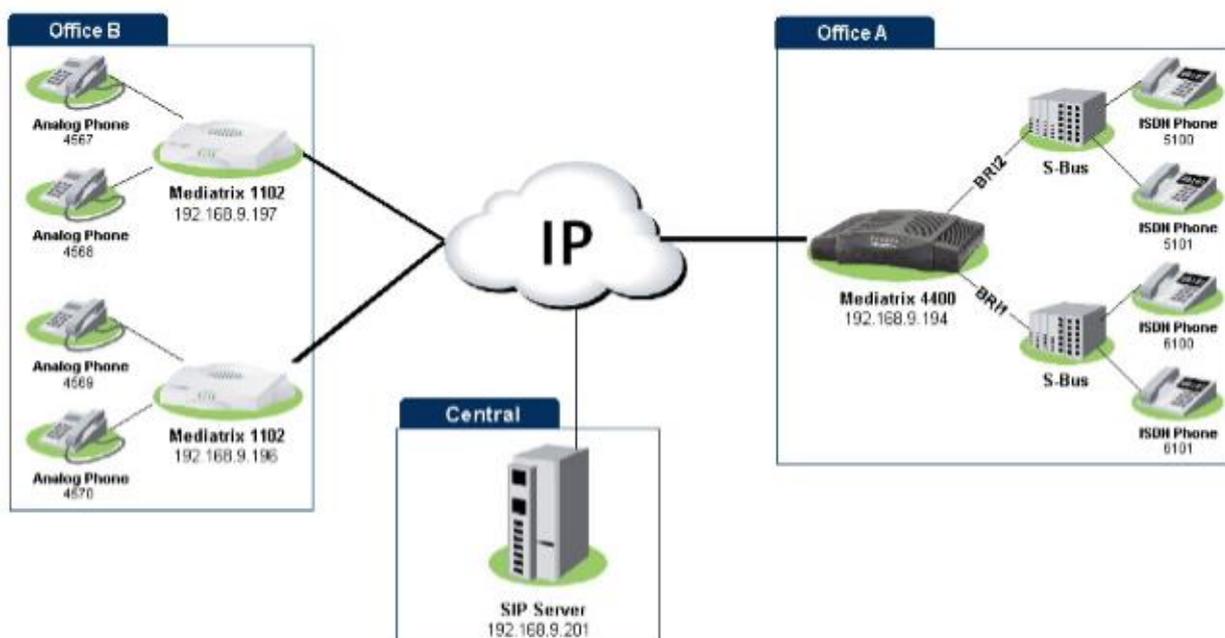
ISDN 電話からの呼び出しを受信し、VoIP ネットワークを介してリモートブランチにルーティングします（例えば、オフィス A からオフィス B へ）

- ・ オフィス A のユーザーが ISDN 電話をピックアップし、番号をダイヤルします。
- ・ Mediatix 4400 は適切な Mediatix 1102 (ATA) にコールを転送します。
- ・ Mediatix 1102 は、適切なアナログ電話呼び出し音を鳴らします。
- ・ Office B のユーザーがアナログ電話を取り、通話が確立されます。
- VoIP ネットワークを介してリモートブランチからコールを受信し、支社の ISDN 電話の 1 つでそれらをルーティングします。（たとえば、オフィス B からオフィス A へ）
- ・ Office B のユーザーがアナログ電話を取り、番号をダイヤルします。
- ・ 適切な Mediatix 1102 は、コールを Mediatix 4400 にルーティングします。
- ・ Mediatix 4400 は、どの ISDN BRI インターフェイスにこのコールをルーティングするかを決定します（ダイヤルに基づいて）。
- ・ 適切な ISDN 電話が鳴ります。
- ・ オフィス A のユーザーが ISDN 電話をピックアップし、コールが確立されます。



必要条件

- オフィス A の ISDN 電話の電話番号は、SIP の登録ユーザーに対応しています。
(サーバー認証なし)。
- Office B のセットアップは機能しており、SIP ユーザーは SIP サーバーに正しく登録されています。



Mediatrix 4400 デジタルゲートウェイの構成

DHCP サーバーを使用して Mediatrix ユニットの接続する

始める前に

- ネットワーク接続が機能していることを確認してください。
- IPv4 ネットワークを使用する必要があります。
- IPv4 ネットワークには DHCP サーバーが必要です。
- ユニットの FXS ポートがない場合、または DHCP サーバーのログにアクセスできない場合、次に使用する [静的 IP アドレスを使用した Mediatrix ユニットの接続 \(p7\)](#)

手順

- 1) 静電気防止用リストストラップを着用し、素肌にしっかりと接触するようにします。
- 2) 静電気防止用リストストラップの端をアースに接続します (アースされた機器ラック)。
- 3) Mediatrix ユニットの電力を供給するために使用される AC 電源の回路ブレーカーがオフ。
- 4) 付属の外部電源アダプタが Mediatrix ユニットの DC コネクタと適切な AC コンセントに接続されていることを確認してください。
- 5) 10/100 BaseT Ethernet RJ-45 ケーブルを Mediatrix ユニットの ETH1WAN コネクタに接続します。
- 6) ケーブルのもう一方の端を、ネットワークに接続されているルーター/スイッチに接続します。
- 7) インストールを検証します。
- 8) 回路ブレーカーで Mediatrix ユニットの電力を供給するために使用される AC 電源をオンにします。

注: ユニットの寒い環境から暖かい環境に移動すると、ユニットに有害な結露が発生する場合があります。その場合は、1 時間待ってから電源コードを接続してください。

- 9) FXS ポートがある場合は、*#* 0 をダイヤルして IP アドレスを取得するか、DHCP サーバーのログを調べて IP アドレスを確認します。

結果

ユニットが DHCP サーバクエリを実行すると、ユニットの電源 LED が点滅します。
DHCP サーバから IP アドレスを正常に取得すると、安定します。この時点で、次のことができます
この時点で、DHCP IP アドレスを使用してユニットの管理インターフェイスにアクセスできます。

次の一步

[Mediatrix ユニット Web インターフェイスへのログオン\(p9\)](#)

静的 IP アドレスを使用して Mediatrix ユニットを接続する

始める前に

- サブネット 255.255.255.0 で 192.168.0.11 プライベート IP アドレスを使用するようにコンピューターを設定する必要があります。
- IPv4 ネットワークを使用する必要があります。
- ネットワーク接続が機能していることを確認してください。

手順

- 1) 静電気防止用リストストラップを着用し、素肌にしっかりと接触するようにします。
- 2) 静電気防止用リストストラップの端をアースに接続します(アースされた機器ラック)。
- 3) Mediatrix ユニットに電力を供給するために使用される AC 電源の回路ブレーカーがオフ。
- 4) 付属の外部電源アダプタが Mediatrix ユニットの DC コネクタと適切な AC コンセントに接続されていることを確認してください。
- 5) 10/100 BaseT イーサネット RJ-45 ケーブルを Mediatrix ユニットの ETH2LAN イーサネットコネクタに接続します。
- 6) ケーブルのもう一方の端を PC に接続します。
- 7) インストールを検証します。
- 8) 回路ブレーカで Mediatrix ユニットに電力を供給するために使用される AC 電源をオンにします。

注: ユニットの寒い環境から暖かい環境に移動すると、ユニットに有害な結露が発生する場合があります。
その場合は、1 時間待ってから電源コードを接続してください。

結果

これで、192.168.0.10 IP アドレスを使用して、ユニットの管理インターフェイスにアクセスできます。

次の一歩

[Mediatix ユニット Web インターフェイスへのログイン \(p9\)](#)

Mediatix ユニット Web インターフェイスへのログイン

情報

パフォーマンスを向上させるには、Microsoft Internet Explorer、Google Chrome、または Mozilla Firefox の最新バージョンを使用することをお勧めします。

注: 古いバージョンを使用している場合、Mediatix ユニットの Web インターフェイスにログインできない場合があります。

ブラウザのバージョン。コンピューターのネットワークカードは、Mediatix ユニットと同じサブネット上にある必要があります。

手順

- 1) Web ブラウザで、Mediatix ユニットが Web インターフェイスとの通信に使用する IP アドレスを入力します。
 - お使いのコンピューターがイーサネットポートに接続されている場合、一般的にはローカルエリアネットワーク (LAN)、つまりほとんどのデバイスの ETH2 は、192.168.0.10 IP アドレスを使用します。
 - Mediatix ユニットが IPv4 で DHCP サーバーを使用するように構成されている場合は、提供されている DHCP サーバの IP アドレスを使用します。

- 2) ユーザー名として **public** を入力し、パスワードフィールドを空のままにします。

注意: **パブリック** ユーザー名のアカウントが管理者権限を持っています。

注: **admin** をユーザー名として使用し、**administrator** をパスワードとして使用することもできます。

- 3) **Login** をクリックします。

結果

Web インターフェイスの情報ページが表示されます。

次の一歩

[デフォルトサーバーの設定 \(p10\)](#)

デフォルトサーバーの構成

始める前に

あなたがフィールドとボタンの意味に精通していない場合は、Web ページの右上隅に位置する **Show Help** クリックしてください。

アクティブにすると、オンラインヘルプを提供するフィールドとボタンが緑色に変わり、それらにカーソルを合わせると説明が表示されます。

情報

場合によっては、既定のサーバーの構成が既に完了している可能性があります。

手順

- 1) SIP/Servers に移動します。
- 2) Registrar Host フィールドで、このゲートウェイに使用するサーバーIP アドレスまたは FQDN を指定します。
- 3) Proxy Host フィールドで、このゲートウェイに使用するサーバーIP アドレスまたは FQDN を指定します。
- 4) Messaging Server Host フィールドで、必要に応じてゲートウェイに使用するサーバーの IP アドレスまたは FQDN を指定します。
- 5) 値を設定するよう特に指示されない限り、Outbound Proxy Host フィールドは空のままにします。
注: アドレスを 0.0.0.0 に設定するか、フィールドを空のままにすると、発信プロキシホストが無効になります。
- 6) Apply をクリックします。
- 7) ページの上部にある restart required services をクリックします。

結果

| Default Servers | |
|------------------------|--|
| Registrar Host: | <input type="text" value="sip.registrarserver.com"/> |
| Proxy Host: | <input type="text" value="sip.proxyserver.com"/> |
| Messaging Server Host: | <input type="text"/> |
| Outbound Proxy Host: | <input type="text"/> |

次の一歩

[すべてのゲートウェイへのユニットの登録 \(p11\)](#)

すべてのゲートウェイへのユニットの登録

始める前に

あなたがフィールドとボタンの意味に精通していない場合は、Web ページの右上隅に位置する Show Help クリックしてください。

アクティブにすると、オンラインヘルプを提供するフィールドとボタンが緑色に変わり、それらにカーソルを合わせると説明が表示されます。

手順

- 1) SIP / Registrations に移動します。
- 2) Unit Registration テーブルで、ドメイン内のユーザーを一意に識別する User Name であるユーザー名を入力します。
- 3) Gateway Name 選択リストから、ユーザーが割り当てられる SIP ゲートウェイを選択します。
- 4) Apply and Refresh をクリックします。
- 5) ページの上部にある restart required services をクリックします。

結果

情報は、Unit Registration Status テーブルに表示されます。

| Unit Registration | | | |
|-------------------|---|----------------------------------|---|
| Index | User Name | Gateway Name | |
| 1 | <input type="text" value="default_user"/> | <input type="text" value="all"/> | - |
| 2 | <input type="text" value="other_user"/> | <input type="text" value="all"/> | - |
| | | | + |

次の一步

[ISDN の構成 \(p12\)](#)

ISDN の構成

情報

あなたがフィールドとボタンの意味に精通していない場合は、Web ページの右上隅に位置する **Show Help** クリックしてください。

アクティブにすると、オンラインヘルプを提供するフィールドとボタンが緑色に変わり、それらにカーソルを合わせると説明が表示されます。

手順

- 1) **ISDN / Primary Rate Interface** に移動します。
- 2) **Select Interface** ドロップボックスから、変更するインターフェイスを選択します。
注: Mediatrix モデルに応じて、いくつかのインターフェイスがあります。
- 3) **Interface Configuration** テーブルで、**Endpoint Type** を **NT** にセット。
- 4) 他のすべてのパラメーターはデフォルト値のままにします。
- 5) **Apply** をクリックします。
- 6) 各インターフェイスに **2 から 5 の作業** を繰り返す。

次の一步

[サービスの再起動 \(p.\)](#)

サービスの再起動

情報

あなたがフィールドとボタンの意味に精通していない場合は、クリックしてください **ショーのヘルプ** に位置し、Web ページの右上隅。アクティブにすると、オンラインヘルプを提供するフィールドとボタンが緑色に変わり、それらにカーソルを合わせると説明が表示されます。

手順

- 1) **System/Services** に移動します。
- 2) **restart required services** の表で、**restart required services** をクリックします。

次の一歩

[SIP デフォルトから ISDN へのルートの作成](#) (p.)

Sip-default から ISDN へのルートの作成

情報

あなたがフィールドとボタンの意味に精通していない場合は、Web ページの右上隅に位置する **Show Help** クリックしてください。

アクティブにすると、オンラインヘルプを提供するフィールドとボタンが緑色に変わり、それらにカーソルを合わせると説明が表示されます。

手順

- 1) **Call Router > Route Config.** に移動。
- 2) **Routes** の表において
 - 既存のルートと同じ行にある **+** をクリックして、上にルートを追加するか、
 - テーブルの下部にある **+** をクリックして、テーブルの最後にルートを追加します。
- 3) **Sources** フィールドを **sip-default** に設定します。
- 4) **Destination** フィールドを **isdn-Bri1** に設定します。
- 5) **Criteria Property** を **Called E164** に設定します。
- 6) ドロップボックスを使用して、状況に対応する **Criteria Rule** を設定します。

注: このルートは、ダイヤル番号 (E164) が **Criteria Rule** フィールドで設定した数字で始まる場合、すべての着信 SIP コールを ISDN BR1 インターフェイスに転送します。

- 7) **Save** をクリックします。
- 8) タスク 2 から 7 を繰り返して、**sip-default** から **isdn-Bri2** への追加ルートを作成します。

結果

| Configure Route End | | |
|----------------------|--|----------------------|
| | Value | Suggestion |
| Sources | <input type="text" value="sip-default"/> | --- Suggestion --- ▼ |
| Properties Criteria | <input type="text" value="Called E164"/> | |
| Expression Criteria | <input type="text" value="example"/> | --- Suggestion --- ▼ |
| Mappings | <input type="text"/> | --- Suggestion --- ▼ |
| Signaling Properties | <input type="text"/> | --- Suggestion --- ▼ |
| Destination | <input type="text" value="isdn-Bri1"/> | --- Suggestion --- ▼ |
| Config Status | | |

次の一步

[ISDN から SipDefault へのルートの作成 \(p14\)](#)

ISDN から SipDefault へのルートの作成

情報

あなたがフィールドとボタンの意味に精通していない場合は、Web ページの右上隅に位置する **Show Help** クリックしてください。

アクティブにすると、オンラインヘルプを提供するフィールドとボタンが緑色に変わり、それらにカーソルを合わせると説明が表示されます。

手順

- 1) **Call Router > Route Config** に移動。
- 2) Routes の表において、
 - 既存のルートと同じ行にある **+** をクリックして、上にルートを追加するか、
 - テーブルの下部にある **+** をクリックして、テーブルの最後にルートを追加します。
- 3) Sources フィールドを **isdn-Bri1** に設定します。
- 4) Destination フィールドを **sip-default** に設定します。
- 5) 他のフィールドは空のままにします。
- 6) Save をクリックします。
- 7) ルートに対して 2 から 7 の作業を繰り返します。

結果

| Configure Route End | Value | Suggestion |
|----------------------|--|----------------------|
| Sources | <input type="text" value="isdn-Bri1"/> | --- Suggestion --- ▼ |
| Properties Criteria | <input type="text" value="None"/> | |
| Expression Criteria | <input type="text"/> | --- Suggestion --- ▼ |
| Mappings | <input type="text"/> | --- Suggestion --- ▼ |
| Signaling Properties | <input type="text"/> | --- Suggestion --- ▼ |
| Destination | <input type="text" value="sip-default"/> | --- Suggestion --- ▼ |
| Config Status | | |

次の一步

[基本的な通話の実行-シナリオ A \(p. 15\)](#)

検証

基本的な通話の実行-シナリオ A

手順

- 1) ピックアップ電話 A。
- 2) 電話 B の番号をダイヤルします。
- 3) 電話 B の呼び出し音
- 4) ピックアップ電話 B。

結果

コールが確立されます。

次の一步

[基本的な通話の実行-シナリオ B \(p. 15\)](#)

基本的な通話の実行-シナリオ B

手順

- 1) ピックアップ電話 B。
- 2) 電話 A の番号をダイヤルします。
- 3) 電話 A が鳴ります。
- 4) ピックアップ電話 A ..

結果

コールが確立されます。

製品の廃棄手順

この記号は、製品が電気または電子に分類されていることを示します
機器であり、商業用または家庭用と一緒に廃棄しないでください
その寿命の終わりに廃棄物。適切な廃棄とリサイクルのために
手順については、お近くの Media5 Corporation プロバイダーにお問い合わせください。
電気電子機器の廃棄物(WEEE)指令(2002/96/EC)が制定されました
環境への悪影響を最小限に抑えるために欧州連合によって、有害な制御
物質、および利用可能な最高の回収とリサイクルを使用して埋め立て地の拡大を削減
テクニック。

著作権表示

Copyright©2017 Media5 Corporation。

このドキュメントには、Media5 Corporation 独自の情報が含まれています。

Media5 Corporation は、このドキュメントおよび知的財産権に対するすべての権利を留保します。
文書と、それが包含および代表する技術とノウハウ。

この出版物は、全体または一部を問わず、いかなる形式でも複製することはできません。

Media5 Corporation による事前の書面による承認。

Media5 Corporation は、この出版物をいつでも変更および変更する権利を留保します。

そのような改訂や変更を個人や団体に通知する義務はありません。

ドキュメンテーション

Mediatrrix ユニットには、徹底的な文書一式が付属しています。

Mediatrrix のユーザー文書は、[ドキュメンテーションポータル](#)にあります。

探している情報を明確に提示するために、いくつかの種類の文書が作成されました。私たちの文書が含まれます：

- **リリースノート(Release notes) :**

各 GA リリースで生成されるこの文書には、既知および解決済みの問題が含まれています。

それはまた、ソフトウェアの問題 変更点とリリースに含まれる新機能についても概説します。

- **設定メモ(Configuration notes) :**

これらの文書は、特定のユースケースの構成を容易にするために作成されます。これらは、ほとんどのユーザーが実行する必要があると考えられる構成の側面に対応しています。ただし、場合によっては、顧客から質問を受け取った後に構成メモが作成されます。これらは、使用するパラメータの値を詳述する標準的な段階的な手順を提供します。これらは検証の手段を提供し、いくつかの概念的な情報を提示します。構成ノートは、構成の側面を通してユーザーをガイドするために特別に作成されます。

- **技術速報(Technical bulletins) :**

これらの文書は、ファームウェアアップグレードの実行など、特定の技術的アクションの構成を容易にするために作成されます。

- **ハードウェアインストールガイド(Hardware installation guide) :**

ユニットを安全かつ適切に設置する方法に関する詳細な手順を提供します。カードのインストール、ケーブル接続、および管理インターフェイスへの最初のアクセス方法に関する情報を提供します。

- **ユーザーガイド(User guide) :**

ユーザーガイドでは、ユニットの構成をニーズに合わせてカスタマイズする方法について説明しています。

この文書はタスク指向ですが、ユーザーが各タスクの目的と影響を理解するのに役立つ概念的な情報を提供します。ユーザーガイドには、管理インターフェイスでTR-069を構成できる場所と方法、ファイアウォールを設定する方法、管理インターフェイスで利用できないパラメータを構成する CLI の使用方法などの情報が記載されています。

- **リファレンスガイド(Reference guide) :**

この包括的な文書は、上級ユーザー向けに作成されています。Mediatrrix ユニットのすべてのサービスで使用されるすべてのパラメータの説明が含まれています。たとえば、特定のパラメータを構成するスクリプト、サービスによって送信される通知メッセージ、またはルールセットの作成に使用されるアクションの説明があります。この文書には、辞書などの参照情報が含まれており、段階的な手順は含まれていません。